

えん罪JR浦和電車区事件 控訴審第2回公判

1月21日東京高等裁判所で、えん罪JR浦和電車区事件控訴審第2回公判が行われました。早朝から傍聴券獲得の闘いに、全国から2365名の仲間たちが集まりました。JR東海労からも、20名の仲間が怒りをもって傍聴券獲得のために並びました。



17時から日比谷公会堂で『控訴審勝利！全組合員で闘い抜く1・21集会』が行われました。証人に立たれた柳原副委員長が「Yが自らの意思で脱退、退職をした。強要、共謀の事実はない」と真実を堂々と証言した報告と、法廷の内外で、控訴審の勝利に向けた戦線の更なる拡大を訴えました。また、集会では、競争社会の崩壊による多大な犠牲が生じている。今こそ競争社会から協力の社会へと変えるために、多くの労働者と連帯をしようと提起がなされました。

次回は、上原さん、斉藤さん、小黑さんの被告人質問が採用され、さらに真実があきらかにされます。

美世志会の逆転無罪を勝ち取り、かけられた全ての弾圧をはね返すために職場、地域から更に奮闘しましょう！

**逆
転
無
罪
へ
確
実
な
一
歩
!**